

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



新病院長 ごあいさつ

市立芦屋病院 病院長 ^{にし うら てつ お}西浦 哲雄



平成 28 年 4 月 1 日より市立芦屋病院の病院長を拝命致しました西浦哲雄です。全国的な自治体病院の経営苦境の中、市立芦屋病院も例外ではなく、一時期非常に苦しい時期もありました。しかし、改革プランの遂行や、市民の皆様のご支援と先輩諸先生方、職員の努力により、平成 24 年 7 月新病棟が完成し、緩和ケア内科など新たな診療科が増設され、少しずつ芦屋病院は生まれ変わってきました。しかしまだまだ道半ばであるなかで、病院長という大役を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。

市立芦屋病院が市民の信頼を得るためには、職員一人一人がプロとして自覚し、自己研鑽に務め、そしてチーム医療を推進し安全で良質な医療を提供しなければなりません。また、次世代を担う人材を育成するための教育を充実させなければなりません。しかしこのような安全で良質な医療の提供の根幹には健全な経営が必要です。

健全な経営には急性期医療の確保が必要です。そのためには救急医療を充実させなければなりません。当院は芦屋市の二次救急医療機関として「断らない救急」を目指します。

次に専門医療の充実です。当院は特に「がん」と「生活習慣病」の診療が充実していますが、最近では整形外科、婦人科でも骨粗鬆症外来や女性泌尿器疾患、婦人科内視鏡手術など特徴ある診療を行っています。がん診療では予防・診断・治療(内視鏡治療・外科・化学療法)・緩和ケアの 4 本柱を担える病院として近隣医療機関と連携し、がん患者さんの行き場がなくなる「がん難民」を作らないことを目指します。

芦屋病院の基本理念である「地域の中核病院」として「地域社会に貢献」し、「患者の意思を尊重し、最善の医療と癒し」を提供していきたいと思えます。

西浦 哲雄 病院長 略歴

昭和 56 年 大阪大学医学部卒業
大阪大学医学部附属病院研修医
昭和 57 年 市立豊中病院内科勤務
昭和 59 年 大阪大学第 2 内科 研究生
昭和 61 年 大阪大学医学部付属病院 医員

平成 5 年 大阪大学医学部 助手
平成 13 年 国立病院呉医療センター 内科医長
平成 16 年 独立行政法人国立病院機構呉医療センター 内科医長
平成 19 年 兵庫県立西宮病院 内科部長
平成 22 年 市立芦屋病院 診療局長
平成 25 年 市立芦屋病院 副病院長

専門分野
血液内科
腫瘍内科
緩和医療

春の公開講座

4 月の公開講座は、西浦病院長による講演です！ぜひ皆さんお越し下さい。

時間 14時～15時30分 参加費 1回200円 場所 芦屋市民センター401号室

日程	内容	講師
4月9日(土)	これからのがん治療 ～芦屋病院の役割～	病院長 西浦 哲雄 医師
5月7日(土)	これからの歯科治療について ～開業 10 周年を迎えて～	山内歯科口腔外科 山内 義之 医師
6月4日(土)	飲み込みにくいと感じたら	リハビリテーション科 今井 教仁 言語聴覚士 栄養管理室 澤田かおる 管理栄養士

問い合わせ先 芦屋市立公民館(0797-35-0700)



新任Drのご紹介



むらかみ まさかず

村上 雅一

専門分野

外科、消化器外科

趣味

ドライブ、ゴルフ、野球、
犬と遊ぶこと

先生から一言！

消化器全般、中でも特に大腸がんの腹腔鏡手術を中心に行ってきました。「人の体に刃物を入れるからには、必ずよくなるようにならなければならない。」という信念があり、その慎重さから内科医のような外科医とよく言われますが、緊急手術の時の判断・決定などは逆に異常に早いです。

患者さんの希望や思いをしっかりと聞きながら、スタッフ・チーム一丸となって最もよいと思われる医療を提供していく所存です。何でもご相談ください。よろしくお願いいたします。



かんざき あきのり

神崎 暁慶

専門分野

糖尿病・内分泌代謝疾患

趣味

音楽、登山

先生から一言！

はじめまして、4月から赴任致します神崎暁慶と申します。私は生活習慣病を中心に診療に従事しております。生活習慣病は心筋梗塞、脳卒中等の発症リスクであり、その改善が重要であります。その名のとおり生活習慣に深く関わる故、単なる薬剤治療に終始せず、皆様ひとりひとりの生活に沿った医療を提供できればと考えております。



教えてDr!

「生理の量は多いですか？」

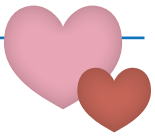
産婦人科 **せん こう ぶ**
銭 鴻 武

産婦人科診療では決まって行う質問ですが、多くの方が「よくわからない」と困惑します。月経量の正常値は「1周期あたりの出血量が80ml以下」と医学的に定義されており、それを超えるものは過多月経と呼びます。月経量が90mlを超える過多月経の方は全体の約10%に上り、そのうちの実に7割の方が貧血になります。90mlというと計量カップの半分にも満たない量ですが、知らず知らずのうちに健康は損なわれています。

では、自分で月経量の多寡はどう判断するの？簡単な目安としては、生理用品を1日に6個以上使用する方、厚手のものでも1~2時間で交換が必要となることがある方は過多月経の疑いがあります。

過多月経を起こす代表的な疾患として子宮筋腫や子宮腺筋症が挙げられます。当院ではそれらに対する手術のほとんどを腹腔鏡または子宮鏡で行っています。昨年度は76名の方がその治療対象となりましたが、開腹手術となった症例は1つもありませんでした。

健診で貧血を指摘された方、月経の量が多いと感じられた方は、是非一度産婦人科で御相談ください。



トリビアの広場 Vol.3

「転倒しない・させない」をモットーに



リハビリテーション科 理学療法士 田村 宏

健康寿命とは要介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れる期間を意味します。健康寿命を延ばすためには心身・身体機能の低下をきたす「寝たきり高齢者」の予防が重要です。この原因が、転倒・転落による骨折。転倒は、夜間や自宅の敷居、足の筋力低下などで発生します。骨折すると安静による臥床期間、手術による固定期間を余儀なくされ日常生活の低下をきたします。

そこで当院リハビリテーション科は、「転倒しない・させない＝寝たきり予防」をモットーに「転倒予防教室」を開催しています。内容は筋力など身体機能の向上を目的に転倒予防体操と自宅環境の注意、工夫を目的に情報提供、生活アドバイスをしています。

転倒は、突発的に起こります。それを未然に防ぐことは健康寿命の延伸に繋がります。お困りの方は転倒予防教室にぜひ一度ご参加ください。



転倒予防教室は、毎週木曜日15時からリハビリテーション室にて開催しています。外来の方もお気軽にご参加ください。

4

月の院内行事

芦屋病院マチネーコンサート

※毎月1回日曜日に開催

日時	4月17日(日) 14時30分～
場所	外来4階待合ホール 黄色いピアノ前
出演	青木春菜(うた)、長谷川恵理(ピアノ)
内容	エンジェルコンサート

両親学級 ※毎月第2土曜日開催

日時	4月9日(土) 10～12時
場所	3階東病棟
内容	お産の経過・赤ちゃんとお風呂
対象	妊娠22週以降の妊婦とパートナー 5組
問合せ	産婦人科外来(電話は13時～16時)

糖尿病教室

時間	13時30分～15時	参加費	無料
場所	病棟2階 講堂 I		

日程	内容	講師
4月8日(金)	糖尿病治療・療養について	医師 他
5月13日(金)	食事療法～はじめの一步～ 薬物療法	管理栄養士 薬剤師
6月10日(金)	臨床検査 食事療法～水分～	臨床検査技師 管理栄養士

問い合わせ先 栄養管理室

車椅子の寄付を 頂きました



2月24日、宮川小学校の児童による車椅子贈呈式を院内で行いました。空き缶プルトップを集めて2台の車椅子を当院へ寄付して頂きました。今後院内で大切に使用して頂きたいと思います。ありがとうございました。

当院の ホームページが リニューアルしました

これまで以上に皆さんに分かりやすいホームページ作りを行ってまいります。当院の最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



市立芦屋病院ホームページ <http://www.ashiya-hoso.com>

事業管理者

のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者

佐治 文隆

大作曲家たち

音楽的素養のない私ですが、音楽を聴くのは好きでジャンルを問わずコンサートによく出かけます。最近もフェスティバルホールで開かれた「世界まるごとクラシック2016～笑う門には福来たる～」で、休日の午後のひとときを過ごしました。作曲家をはじめピアニスト、プロデューサー、作家など多彩な才能を標榜する青島広志が、トークを交えてオーケストラを指揮するクラシックの入門コンサートです。ほぼ満席の聴衆には子供連れの家族も多く、そのせいかプログラムの漢字はすべてルビが振られています。曲目の一つ「ショパンのワルツ」は、誰もが一度は聴いたことのある華麗なる大円舞曲です。フレデリック・フランソワ・ショパン(1810年～1849年)は「ピアノの詩人」と呼ばれるだけあって、その表現や様式は様々で美しい旋律に彩られています。ピアニストにとってショパンの作品は大変挑戦的で弾くのが難しいそうです。それは弾くキーが右から左へと鍵盤上を駆け巡り、その上幅も狭くて小さい黒鍵へ跳ばなければならないパターンが多いなど、ピアニスト泣かせといえます。その後たまたま芦屋病院のマチネーコンサートで、振袖姿のお嬢さんによるショパンのバラード1番ソロ演奏を直近で見る機会がありました。縦横無尽に飛び跳ねる指先を見て、なるほどと納得しました。

ショパンと同時代を生きた作曲家にローベルト・シューマン(1810年～1856年)やフランツ・リスト(1811年～1886年)がいます。リストもまた「ピアノの魔術師」と呼ばれましたが、シューマンは才能があったにもかかわらずニックネームを持っていません。シューマンはピアニストになるため猛訓練をして、両手指の腱を切ってしまったそうです。彼は発想を転換し、自分の師匠の娘でピアニストのクララを娶り、自らはもっぱら作曲に

専念して妻に弾かせたといえます。ただシューマンの作品には楽譜に「最高の速さで」と注釈をつけた後に「もっと早く」と書き入れてみたり、窓から飛び降りても痛くないようにアパートの下の階に移るなど説明のつかない奇行がみられました。それどころか何度も飛び降り自殺を図るなどの行為もありました。

シューマンは実は梅毒罹患者で、繰り返す奇行の果てに、1854年に自ら病院に入院したそうです。最近エボラ熱やジカ熱などが話題になっていますが、人類の歴史は感染症との戦いであったと言っても過言ではありません。ペスト、コレラ、天然痘、インフルエンザなどとともに梅毒も世界を揺るがした感染症です。15世紀末以降のヨーロッパは20世紀初頭に特效薬サルバルサンが出るまで、梅毒に席卷されました。この間、いろいろな医薬が治療に用いられましたが、水銀もその一つで数百年にわたり使用されました。水銀は軟膏、吸入、水溶液として内服などいろいろな形で投与されましたが、当然その毒性は強烈で水銀中毒が続出したのは想像に難くありません。当時の梅毒は確かに死に至る病でしたが、シューマンの直接死因は梅毒治療に用いられた水銀中毒ではないかとも言われています。

フランツ・シューベルト(1797年～1828年)もまた梅毒治療を受けていて、シューマン同様に水銀中毒で命を縮めてしまった可能性があると言われています。水銀中毒がなければ「未完成交響曲」は「交響曲第7番」として完成していたはず。過ぎたるは猶及ばざるが如し、医薬品は常に「諸刃の剣」です。(2016.4.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧ください。

市立芦屋病院 ご案内

●●●交通案内●●●

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

	タクシー 約5分
	バス 約15分 JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番
	徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください **無料**

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念
芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本病院機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>